

Hondaエコマイレージチャレンジ 鈴鹿大会 車検チェックリスト

2019.6.15

- ・車検を受ける前に、太枠内の必要記載事項を記入し、チェック内容に沿って「車検前参加者自主チェック」欄を記入してください。
- ・出走できる状態の車両/ドライバー装備で車検を受けてください。
- ・車検の際には、マシンについて技術的な質問に答えることができる方が必ず同行してください。

総合判定

グループ（〇を付けてください）	ゼッケンNo	チーム名	マネージャー氏名
グループⅠ：中学生クラス			
グループⅡ：高校生クラス			
グループⅢ：大学/短大/ 高専/専門学校生クラス			
グループⅣ：一般クラス			
ニューチャレンジクラス			
2輪車クラス			

燃料計測方法（〇を付けてください）

トップアップ計測
（通常の方法）

全重量計測

項目	チェック内容	車検前参加者 自主チェック	車検委員 判定
ゼッケン	ゼッケンと公式ステッカーが所定の場所に貼付けてあること。	OK : NG	
車体	3輪以上で常時接地すること。トレッド0.5m以上、ホイールベース1.0m以上のこと。	OK : NG	
	他に危害を与える鋭いエッジや突起がないこと。	OK : NG	
排気管	エキゾーストパイプ（排気管）は車体端面から5cm以上出ないこと	OK : NG	
ブレーキ	操作部（レバー等）を含め2系統装着のこと。操作しやすく、取付は確実であること。	OK : NG	
前方視界	正常な運転姿勢で正面から左右90° の範囲が見通せること。	OK : NG	
後方視界	左右に面積40cm ² 以上のバックミラーを備えること。後続車両の状況が見通せること。	OK : NG	
安全脱出	ドライバーは工具無しで直ちに車両から脱出できること。外部から救出容易なこと。	OK : NG	
隔壁	エンジンとドライバーの間に難燃性材料で適切なサイズの隔壁を設けること。	OK : NG	
安全性	全ての車両は操縦安定性に十分な剛性を有すること。	OK : NG	
燃料タンク	脱着および、スタート前の燃料微調整が容易に行えること。	OK : NG	
燃料配管	燃料タンクからキャブレター/燃料ポンプまでの配管は耐ガソリン性透明チューブのこと。	OK : NG	
	燃料配管内に空気および燃料蒸気が滞留しないこと。	OK : NG	
スターター装置	正常な運転姿勢から始動でき、スターター装置は車両に駆動力を与えないこと。	OK : NG	
エンジン	ベースエンジンはHonda製4ストローク50ccであること。（NCクラスは150cc以下）	OK : NG	
	潤滑オイルはタイヤ、ブレーキにかからないこと。	OK : NG	
	潤滑オイルが車外に流出することを防止する受皿を設けること。	OK : NG	
キャブレター 装着車	ドレンからフロート室の燃料を排出可能であること。	OK : NG	
	ソレノイド等の燃料遮断装置はイグニッションスイッチと連動のこと。負圧コック禁止。	OK : NG	
	フロート室の改造やオリフィス等の流量制御装置はあるか？	有 : 無	
全重量計測車	作業時間1分以内で、計測する燃料系統一式が取付、取外し可能なこと。	OK : NG	
ドライバー装備	ヘルメットは規格に適合していること。（JIS T8133:2007、SNELL等 規則書6ページ第10項参照）	OK : NG	
	長袖、長ズボン、グローブ、靴下、靴を装着のこと。	OK : NG	
トランスポンダ	カウル外側へ装着すること	OK : NG	
	トランスポンダと路面の間（トランスポンダの下方）には遮断する物質がないこと。	OK : NG	
	カーボンボディの車体はトランスポンダとボディの間が4cm以上離れていること。	OK : NG	

改造内容・その他

改造内容	車検前参加者 自主チェック	車検委員 判定
車両構造申請書に記載していない改造箇所、もしくは変更点はあるか？	有 : 無	

その他、特記事項

制動能力（ブレーキ）検査

（ドライバーおよびチーム員2名の合計3名以上で参加ください。2輪車クラスは検査不要）

制動能力（ブレーキ）検査		車検委員 判定
（ドライバーおよびチーム員2名の合計3名以上で参加ください。2輪車クラスは検査不要）		
静止能力検査	11°勾配の試験板上で車両が停止していること。	
坂道制動検査	検査員の指示に従い、坂道制動検査を受けること。停止距離は問わない。	